

## 3章 駅前広場等整備の基本方針

目指すべき方向性及び小牧駅周辺の現状・特徴・課題を踏まえ、整備の基本方針を示します。

### 方針1 まちの活性化に資するにぎわいの創出

人々が集い、にぎわいのある中心市街地の形成に向け、「小牧の玄関口」に相応しく、まちの活性化に資するにぎわいを創出します。

#### 【方針に基づく主な施策】

- 人々が集い・交流できる空間づくり
  - イベントなど多目的な利用が可能なオープンスペースの設置
  - イベント主催者等が円滑かつ効率的に施設を使用できるように  
使用者視点に立った設備の整備
  - 屋内において集い・交流できる空間の維持・拡充
  - 交通結節点機能とにぎわい空間との隣接による相乗効果の発現
- にぎわい創出に向けた官民連携による施設管理・運営
- 駅とまちをつなぐ歩いて楽しめる空間づくり
  - 小牧駅からラピオまでの直線的な東西歩行者動線の形成
  - シンボルロードとあわせたウォークアブルな空間づくり
  - まちの回遊の起点となる観光客等に向けた案内機能の充実
- 民間活力を活かしたにぎわい施設の設置
- 中央図書館・ラピオとの連続性・一体性のあるにぎわいの形成
  - 小牧駅からラピオまでの直線的な東西歩行者動線の形成【再掲】



### 方針2 安全・安心で人に優しい空間づくり

小牧駅周辺において、通常時及び発災時ともに誰もが安全に・安心して利用できる駅前空間を形成します。

#### 【方針に基づく主な施策】

- 安全・安心な環境整備
  - 災害時における帰宅困難者の一次避難場所の維持・拡充
  - 交番設置を見据えた上での施設配置の検討
  - 照明や防犯カメラ等の設置による利用者の安全確保
- 人に優しい駅前空間づくり
  - 初めて訪れる人や高齢者など誰もが分かりやすく安心して利用できる交通結節点の形成
  - バリアフリーを考慮した快適な歩行者動線の形成



人々が憩うことができる居心地が良くやすらぎのある空間を形成します。

**【方針に基づく主な施策】****■ 居心地が良くやすらぎのある空間づくり**

- 訪れた人がやすらげるスペースの設置
- 公共交通待合時に快適に過ごすことができる設備の整備
- 快適に過ごすことができる日陰空間の確保

**■ 徒歩で快適に移動できる環境整備**

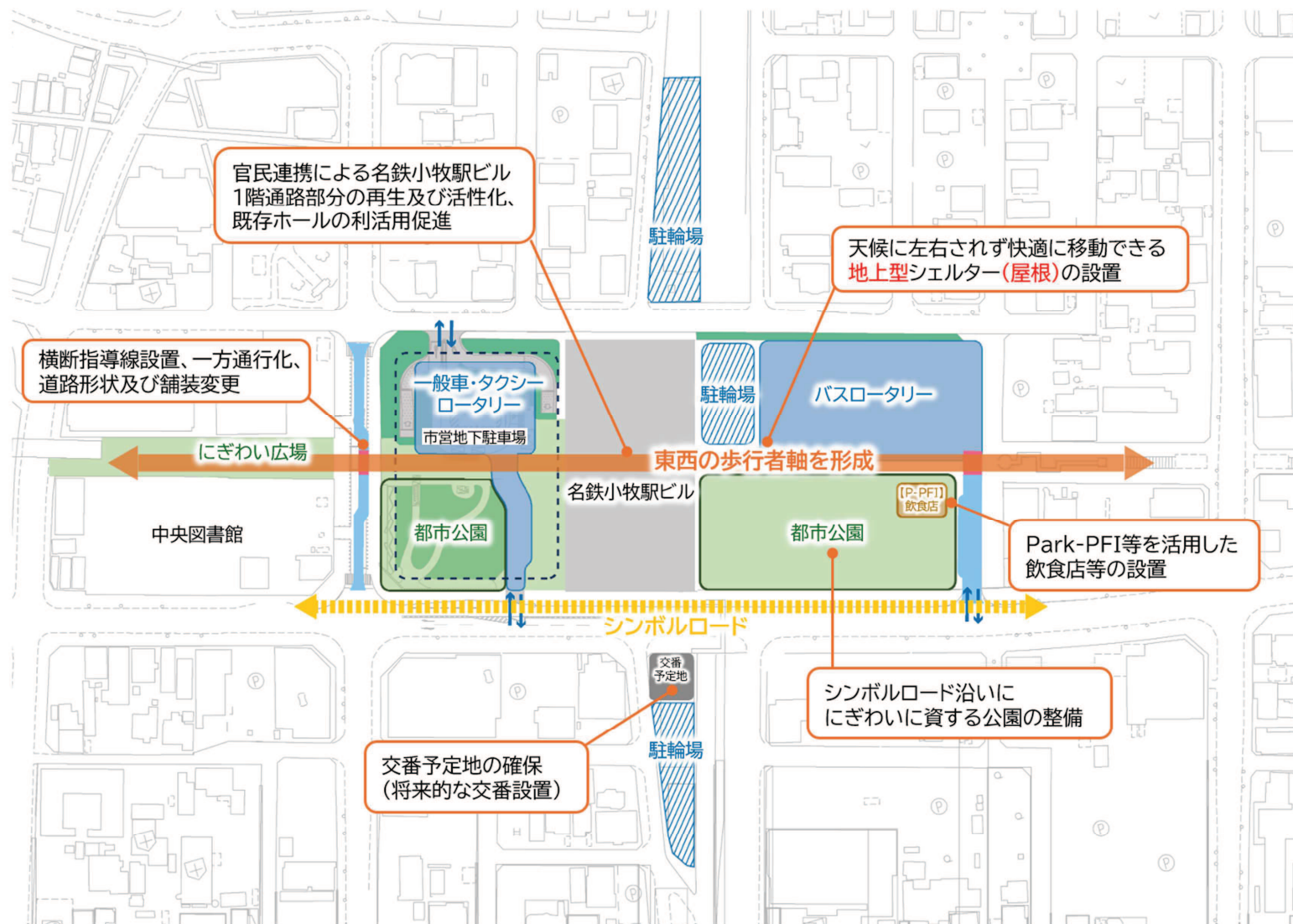
- 天候に左右されず快適に移動できる地上型シェルター(屋根)の設置
- 小牧駅からラピオまでの直線的な東西歩行者動線の形成【再掲】



## 4章 駅前広場等の整備計画

### 1. 整備計画

基本方針に基づき、整備計画図を示します。



#### ■ 東西の歩行者軸

- 市道小牧駅西線の一方通行化(北向き)、道路形状・舗装変更、横断指導線設置により、小牧駅からラピオまでの直線的な歩行者動線を確保するとともに、歩行者に優しい道路空間とすることで、人の流れを呼び込み、小牧駅・中央図書館・ラピオといった中心市街地の核となる施設で発現されるにぎわいに連続性・一体性をもたせます。
- 東西の駅前広場をつなぐ名鉄小牧駅ビル1階通路部分について、官民連携による再生及び活性化を図ることで、駅東西間のつながりを強化し、人の流れやにぎわいに連続性・一体性をもたせます。

#### ■ オープンスペース、バスロータリー

- シンボルロード沿いににぎわいに資する都市公園(オープンスペース)を配置することで、Park-PFI等による飲食店等の出店ニーズが高まるとともに、新たなにぎわいがまちなかへ波及することが期待できます。

#### ■ 既存施設の活用

- 官民連携により名鉄小牧駅ビルの既存ホールの利活用を促進し、引き続き小牧駅前への集客を確保するとともに、屋内において人々が集い・交流できる空間を確保します。